

## 当帰(トウキ)について

日本では奈良県や北海道で栽培されるセリ科の多年草、トウキの根を薬用とします。

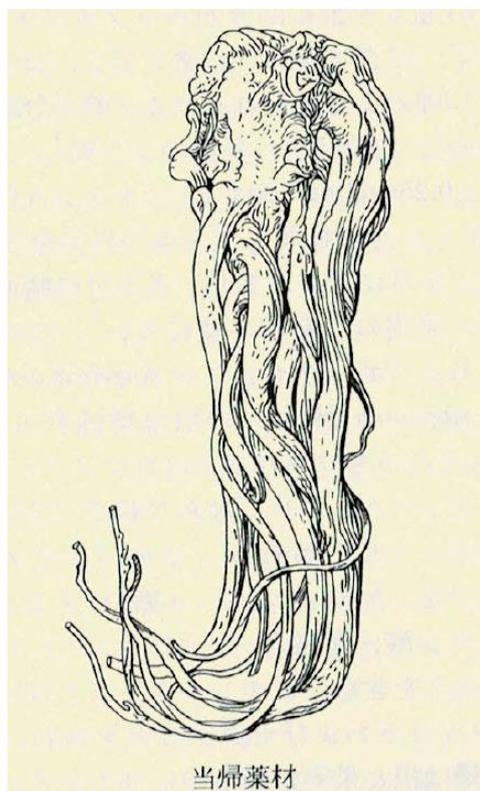
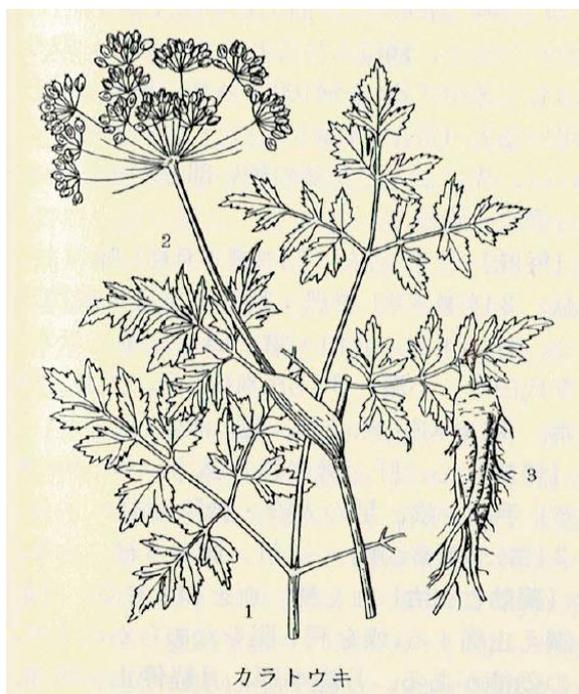
トウキ：Angelica acutiloba

成分：リグスチライド・サフロール・・・(精油成分他、脂肪酸など・・・)

効能：鎮痛・消炎作用、 調経・補血・潤腸作用など、

漢方では補血・活血・調経・潤腸を目的に月経不順、貧血、冷え性の薬として用います。

中薬大辞典では、血を補い和ませ経を調え止痛するとし月経不順、月経停止、腹痛、子宮出血、貧血による頭痛、めまい、麻痺、便秘、不妊症などに効能があると示しています。



中薬大辞典より

日本では野生種にミヤマトウキやヒュウガトウキなどの近縁植物があり昔から品種改良をして栽培を試みてきました。日本では日本産のトウキを医薬品原料と定め中国産のカラトウキは該当しません。日本産のトウキは主に吉野地方で栽培されるものを大和当帰(大深当帰)、北海道で栽培されるものを北海当帰とし生産しています。この種類は野生品も多く交雑種ができやすいため民間でも広く栽培されています。

漢方処方＝当帰建中湯・当帰芍薬散・加味逍遙散・紫雲膏・芍帰膠艾湯・十全大補湯・・・